

にぎわいどう創出

飯豊などの
男女33人 秋田の会議で議論

飯豊町などの若者が地域活性化について話し合う「いいで未来号II」が7月31日から1泊2日の日程で秋田県仙北市などで行われた。飯豊町などで組織する「にぎわい再現プロジェクト委員会」が昨年



に続いて開催。飯豊町と
いいで未来号IIの参加者がまちづくりに取り組む他県の人たちと意見を交わした「若者会議」

秋田県仙北市役所西木庁舎

長井市から21〜63歳の男女33人が参加した。31日は仙北市でNPO法人秋田県南NPOセンターが主催する「若者会議」に出席し、にぎわいづくりをテーマに議論を交わした。1日

は秋田港から新潟港までフェリーで移動。4班に分かれ、グループごとに意見を出し合った。船内のグループ活動では、若者たちで運営するカフェやバーをつくりたい▽若い人が

交流できる場をもっと増やしたいーといったアイデアが出された。今回出された意見は同委員会が10月ごろまでに取りまとめ、実現可能なものから実行に移していく。